

# KOINONIA EDUCATION CENTRE

2009年4月

ニュースレターNo14

## 新しいスタート

コイノニア創立7年目、82名の子供たちと新しいACEというシステムを取り入れてでスタートしました。カリキュラムを全く新しくすることは大変な仕事で忙しい日々でした。しかし、3月には先生たちも子供たちも新しいシステムに慣れ、楽しんで勉強するようになって来ました。この時期を乗り越えられたのは、教師をはじめスタッフ全員のチームワークの賜物です。新しく1月から秘書としてオドゥオールさんが加わり、このチームはパワーアップしました。一つの目標に向かって一人ひとりが自分の出来ることを考え、意見を出し合い工夫し、新しいシステムへの移行が子供たちにとって最も良い形で生かされるよう努力しました。



## ACE - アクセラレイテッド・クリスチャン・エジュケーション



アメリカでホームスクーリングのプログラムとして始まり、学校の中でも生かされるよう工夫されたものです。現在は世界100カ国で使われています。アフリカでは南アフリカから広がり、ケニアではまだ8年の歴史しかありません。しかし、一人一人の子供が自分のペースで勉強することが出来ます。自分が計画を立て、出来たものを評価し、次の計画を立てることが求められています。つまり子ども自身がモチベーションを持って学ぶことが求められます。教師たちの大切な役割は常に子供たちを励まし続けることです。教室も机も普通の学校と違います。オフィスと呼ばれる個人のスペースがあり、それぞれが自分の課題に取り組みます。コイノニアの子供たちは自分の家に自分だけのスペースや机を持っていません。このオフィスが自分のプライベートスペースとして与えられたことは大きな喜びでした。

また全ての教科の中に聖書の言葉が盛り込まれ、聖書の知恵を学び、信仰が育てられます。

保護者への説明会を開きました。皆真剣に教師の話聞き、『自分たちが子供の頃にこんなシステムがあったらよかったのに』と話していました。毎朝朝7時半から学校は始まります。3回遅刻をすると親が呼び出されます。1月は毎日のように親たちが呼ばれていましたが、3月には遅刻者はいなくなりました。保護者の協力も大切な要因です。多くの保護者が積極的にコイノニアの教育をサポートするようになって来ました。

保護者への説明会を開きました。皆真剣に教師の話聞き、『自分たちが子供の頃にこんなシステムがあったらよかったのに』と話していました。毎朝朝7時半から学校は始まります。3回遅刻をすると親が呼び出されます。1月は毎日のように親たちが呼ばれていましたが、3月には遅刻者はいなくなりました。保護者の協力も大切な要因です。多くの保護者が積極的にコイノニアの教育をサポートするようになって来ました。



## コイノニアのオリジナリティー

A C Eのプログラム難点もわかってきました。それは個人主義になりやすいということです。一人で勉強する時間が長いことで、友達への思いやりや関わり、チームワークが育ちにくいということです。また人の話に耳を傾けることが少なくなります。これまでコイノニアは「聞く力を身につける」「共に学ぶ中で愛し合い、尊敬し合い、助け合う」を育てることに力を注いできました。A C Eを取り入れたことで今まで取り組んできたことが損なわれないように多くの工夫が必要だとわかってきました。A C Eに含まれていない、「スワヒリ語、ケニアの社会」の科目は従来のスタイルでクラスで一緒に学びます。特に社会は一緒に調べたり、発表し合ったり議論したりということを意識的に行い、共に学ぶクラスにしています。

もちろん、音楽、美術、スポーツの時間は一人一人の子供たちが輝く場です。皆益々意欲的に取り組み成長しています。

## スポーツイベント

**陸上競技** 今学期は学校対抗の2つの大会に出場しました。体が他の学校の同じ年齢の子供に比べて小さいコイノニアの子供たちの頑張りに感動しました。

**水泳大会** 昨年に続いて今年も保護者を招いて水泳大会をしました。水が怖くて泣いていた子供たちも皆頑張りました。



## メキシコへ行く

コイノニアはスラムと高級住宅地の間にあります。近所にはメキシコ大使館、大使公邸があります。ある日コイノニアの庭では狭いので前の道でランニングのトレーニングをしていた時に、それをメキシコ大使館の参事官が見て「大使館の敷地は大きいし安全なので体育の授業に使えるようにしてあげたい」と申し出て下さいました。

大使館はケニアにあってもメキシコの領土と同じです。そこに地元の学校の子供たちが、しかもスラムに住む子供たちが出入りすることなど考えられないことでした。コイノニアの小学生は毎週メキシコで体育の授業を受けることになりました。在ケニヤメキシコ大使、参事官を始め大使館の全ての方々厚意と決断に心より感謝しています。

## 日本人の方々の応援

日本人会のコーラスグループがコイノニアを訪問して素敵な歌声を披露して下さいました。入園間もないインパラクラスの子供たちは、始めてたくさんの日本人を目の前にしてただ呆然としていましたが、大きい子供たちはケニアの歌と一緒に歌い楽しい時を過ごしました。

日本語の聖書の会の参加者の方々がバザーをして収益を献金して下さいました。この献金によって新しい子供たちの机を作りました。

日本の多くの学校や幼稚園、教会からクリスマスの献金をいただきました。それら全てはA C Eのための机、教材購入のために使わせていただきました。心より感謝いたします。

\*\*\*新しい土地と施設のために道を求め続けています。\*\*\*

### 日本での支援窓口

郵便振り込み先 コイノニア・アカデミー基金 00160-6-373439

会計担当：浜井和美 TEL: 03-5951-8236

コイノニア教育センター連絡先 E-mail [ichihashi@kcf.or.ke](mailto:ichihashi@kcf.or.ke) HP <http://www.kdn.ne.jp/~amani/>